

三郎 高山久藏

議長 高山久藏

此の日神奈川縣聯合会長森宗一氏を党聯合会にて除名した報告あり、万一の
場合を考慮して新党樹立の向題を慎重に扱ひ党の大会に付すべし決定を乞ふ。

昭和六年十二月五日からの三日間に至る全国労農大衆党の大会は依然たる共同戦
隊党であり兩派党にして混然何等一體したる指導精神を決定し得ず益々吾等の党
不信任を確信付ける以外の何もかも存せざる。

昭和六年十二月八日夜 中央委員会之開催、出席者

高山久藏、皆川利吉、森 宗一、佐野好男、岩坂力藏、渡石田藏、杉山憲忠

近藤末藏、宇野信三郎、風岡高次郎、齊藤健次、木下勘三郎、坂本孝三郎、

議長 坂本孝三郎

党大会の情勢報告の後尤の決定と理由とを協議した。

一、日本労働組合総聯合会東京聯合会以外各地方聯合会は「全国労農党の支持
を取消す」但し東京聯合会は内部の事情を整理し可及的速に存否を決定する
事。

理由

(1) 全国労農大衆党は従来吾が黨聯合会に對して極めて朋党的態度であつたが今大
會を通じて更に其態度を明瞭にした。

(2) 吾が日本労働組合総聯合会は無産政黨に對して明確なる指導を期待し従来其共
同戦線党の如き聯合戦を排斥し明確に労働組合の拡大強化と發展する党たる
ことを期待する。

(3) 日本労働組合総聯合会是全国的に戰隊的労働団体として一致協力して資本家階
級の暴圧に對して戦ひ抜き絶対的に全国的團結を保持して邁進すること。

更に吾等はいくまで慎重なる態度を以て大會を静観し得ることの結果何
等總聯合会に對しての態度又は党の指導精神たる共産主義的態度を改めず且つ
又強圧的何等の理由なき各地方聯合会の總聯合幹部に對して除名を敢行し得
のであつた。かくて出版部長たる近藤末藏氏が現在の無産政黨の動行を呼ん
だ「無産政黨出題し」が党幹部の逆鱗によつて除名を敢行され流れて関西に
於ける坂本委員長始め数名を理由なきに等しき除名に附した。

最早矢は登るはなれた。十二月十二日関西聯合会拡大執行委員會を召集し